

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 23 年 11 月 10 日 (2011.11.10)

【公開番号】特開 2010-22015 (P2010-22015A)
 【公開日】平成 22 年 1 月 28 日 (2010.1.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-004
 【出願番号】特願 2009-198456 (P2009-198456)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 52/02 (2009.01)

H 0 4 M 1/73 (2006.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 4 2 3

H 0 4 M 1/73

【手続補正書】
 【提出日】平成 23 年 9 月 28 日 (2011.9.28)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

無線デバイスで使用するための方法であって、
前記無線デバイスが、メッセージリストを受信するために所定の時間間隔中にスリープ
モードからウェイクアップするような無線ネットワークに同期すること、
複数の宛先識別子および複数のメッセージポイントを含むメッセージリストを受信する
ことであって、
前記複数のメッセージポイントの各々は、前記複数の宛先識別子からの宛先識別子
と関連し、
前記複数のメッセージポイントの各々は、メッセージがいつ受信可能になるかを示
し、
前記複数のメッセージポイントの各々は、異なるメッセージを指し示す、
こと、および、
前記複数の宛先識別子の 1 つが前記無線デバイスに対応するという決定に応答して、前
記無線デバイスに対応する前記宛先識別子に関連づけられたメッセージポイントにより指
示されるメッセージを受信すること
を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】
前記メッセージリストはさらに、前記メッセージリスト中の前記宛先識別子のカウント
を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】
前記メッセージリストはさらに、リスターミネータを含むことを特徴とする請求項 1
に記載の方法。

【請求項 4】
次の時間間隔までスリープモードに戻ることをさらに含むことを特徴とする請求項 1 に
記載の方法。

【請求項 5】
無線デバイスであって、

メッセージリストを分析するように構成されているプロセッサであって、前記メッセージリストは、複数の宛先識別子および複数のメッセージポイントを含み、前記複数の宛先識別子の各々は、前記複数の宛先識別子からの宛先識別子と関連し、前記複数のメッセージポイントの各々は、メッセージがいつ受信可能になるかを示し、前記複数のメッセージポイントの各々は、異なるメッセージを指し示す、プロセッサと、

前記複数の宛先識別子の一つが前記無線デバイスに対応するという決定にตอบสนองして、前記無線デバイスに対応する前記宛先識別子と関連づけられたメッセージポイントにより指し示されるメッセージを受信するように構成されている受信機と
を含むことを特徴とする無線デバイス。

【請求項 6】

前記プロセッサはさらに、次の時間間隔まで前記無線デバイスをスリープ状態に戻すように構成されていることを特徴とする請求項 5 に記載の無線デバイス。

【請求項 7】

前記複数のメッセージポイントの各々はさらに、周波数情報を含むことを特徴とする請求項 5 に記載の無線デバイス。

【請求項 8】

無線デバイスで使用するための方法であって、
無線インターフェースを介して、メッセージリストを受信することであって、前記メッセージリストは、複数の宛先識別子および複数のメッセージポイントを含み、各メッセージポイントは、前記複数の宛先識別子からの宛先識別子と関連づけられ、各メッセージポイントは、メッセージがいつ受信することになるかを示し、前記複数のメッセージポイントの各々は、異なるメッセージを指し示す、こと、および
前記宛先識別子の一つが前記無線デバイスに対応するという決定にตอบสนองして、前記無線デバイスに対応する前記宛先識別子と関連づけられた前記メッセージポイントにより指し示されるメッセージを受信すること
を含むことを特徴とする方法。

【請求項 9】

各メッセージポイントは、メッセージが受信可能になるタイムスロットを示すことを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記メッセージリストはさらに、前記メッセージ中の宛先識別子のカウントを含むことを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】

前記複数のメッセージポイントの各々は、周波数情報を含むことを特徴とする請求項 8 に記載の方法。